

ふくみね

令和元年7月5日
高田小学校便り
No. 4



親子ふれあい学習

1年生

手話教室と親子給食
「手話を使って
歌と歌いました」

2年生

ブラインドウォーク
「お母さん気をつけて」

3年生

認知症サポーター講習
「オレンジリングもらったよ」

6/14 芸術鑑賞会

林家
榮太

今年もふくみねノート展を実施します！7月12日(金)

～ふくみねノートで次のことを目指しています～

- ① 毎日続けて勉強する習慣を身に付けさせる。
- ② 自分に合った学習に取り組ませる。
- ③ 学習の仕方・ノートの使い方を学ばせる。
- ④ 積み重ねる喜び、工夫する楽しさ、続ける意欲を持たせる。
- ⑤ 学びの様子を学校と家庭で共有する。

ふくみねノートのページから、ひとりひとりの学びの姿が見て取れます。積み重ねたページの厚みと共に、学びの力が積み上がっていくことを願って……。皆で学び合っていきます。



7月・8月の行事予定

7月 9日(火) スクールカウンセラー来校	24日(水) 水泳教室(～26日まで)
12日(金) ふくみねノート展(参観できます)	8月 13日(火) 閉庁日(～16日まで)
18日(木) 給食終了(14:00下校)	25日(日) 全校登校日 PTA奉仕活動
19日(金) 終業式 地区児童会(11:40下校)	9月 2日(月) 始業式 地区児童会(11:40下校)
22日(月) 夏季休業 個別懇談 地区水泳(～8/9)	3日(火) 給食開始 (14:00下校)
23日(火) 個別懇談	

9月2日、学校での再会を楽しみに待っています

アンケートから見えること

6月に3年生以上を対象にネットアンケートを実施しました。半年前にも実施しており、それと比較すると大きな変化はありませんが、オンラインゲームをしたりYouTube等の動画を見たりする児童が増え、ゲームと動画が占める割合は男子95%、女子82%となっています。特に私達はその影響を心配しているのは、男子で4人に1人、女子で8人に1人が平日3時間以上ネットをしていること、オンラインゲームでも同じような割合になっていることです。どんな悪影響が指摘されているのか、簡単にまとめてみました。

インターネットの接続時間

	男	女
しない	26%	25%
1時間以内	21%	42%
2時間以内	15%	17%
3時間以内	15%	6%
3時間以上	23%	12%

↑対象：3年生以上男子53人女子53人

オンラインゲームの時間

	男	女
しない	35%	73%
1時間以内	5%	13%
2時間以内	30%	5%
3時間以内	5%	3%
3時間以上	25%	8%

↑対象：ネットをする男子39人女子40人

長時間の悪影響 1

- 睡眠不足 → 授業に影響
理想：低学年10時間 高学年9時間
- ブルーライト → 睡眠障害
脳は昼間だと勘違い
- ブルーライト → 網膜にダメージ
将来の病気の原因（加齢黄斑変性）

↑ブルーライトは液晶画面から出ている光

長時間の悪影響 2

- 男女の学力格差
中学校では男子の平均点が低い
教科によっては20点以上

ネット 3時間以上 男23% 女12%

ゲーム 3時間以上 男25% 女8%

↑平均点の差はネット・ゲームが要因の1つ

ゲーム障害（心の病気）

- 1 ゲームの回数や時間のコントロールができない
- 2 何よりもゲームを優先してしまう
- 3 人間関係や健康の問題が起きててもゲームをやめられない
- 4 暴力的なゲームは、相手の痛みを感じられなくする（攻撃性高まる）

↑世界保健機関はゲーム障害を病気と定めた

子供はゲーム依存になりやすい

- 脳が未熟で発達段階にあり、大人よりゲームの刺激を受けやすいため
- ゲーム依存症になるまでの期間が大人より短い
- 回復しにくい

↑鹿児島県の調査では小学生男子の約20%がネット・ゲーム依存の疑いがあると報告

高小のスマホ等使用のルール

- 1 宿題が終わってから使う
- 2 家庭でルールと時間を決める
※児童会は1時間以内を推奨
- 3 親がいる所で使う
※いない時の使い方は親と相談
(2018年12月 高田小学校児童会)

今後、急速に増えることが心配されるネット・ゲーム依存。専門家は「ルールは、親子でよく話し合って、子供本人が納得した上で決めることが重要」と指摘しています。また「決めたルールは書いておき、親も食事中は使わないなど、一緒になってルールを守ることが大切」とアドバイスしています。

夏休み前にルールを再確認し、守り抜くことで与えられた時間を夢の実現に生かしましょう。